

全学教育科目・言語文化科目

# 日本語文章表現法

第1回 オリエンテーション

佐藤 弘毅

SATO, Kouki



名古屋大学 言語教育センター

Language Education Center, Nagoya University

# 日本語文章表現法

- ◆ 担当: 佐藤 弘毅 (さとう こうき)
- ◆ 日時: 月曜1限 (8:45~10:15)  
月曜2限 (10:30~12:00)
- ◆ 教室: 全学教育棟 C12 (原則対面で行います)
- ◆ シラバスはTACTのリソースにあります
- ◆ (PCを持っている人は)  
ワークシート01をダウンロードしてください
  - 今回は紙のシートもあります

# まずは自己紹介

◆ ワークシートの (1) (2) を書いてください

(1) 自己紹介の項目

(2) 自分の自己紹介の文章



◆ (2)の文章をTACTのフォーラム  
「第1回 自己紹介」に投稿してください

■ PCを持っていない人は後で(宿題)



◆ 順番に読んでもらいます

# 自己紹介に必要な項目は？

大学の授業での自己紹介では、どんなことを話した方が良いと思いますか。



大学の授業での自己紹介では、以下のようなことを話すと良いと思います。

1. 名前と学部/学科/専攻

最初に自分の名前と所属を紹介しましょう。学部、学科、専攻なども合わせて伝えると、同じ授業を受ける学生たちとの共通点を見つけやすくなります。

2. 趣味や興味のある分野

自分がどんな趣味や興味を持っているかを伝えると、同じ趣味や興味を持つ人との共通点を見つけることができます。また、その分野について熱心に学ぶことができることをアピールすることもできます。

3. 目標や将来の夢

将来の目標や夢について話すと、自分が何に興味を持っているかやどんな方向性で学んでいくかを示すことができます。また、同じ目標や夢を持つ人との共感を得ることができます。

4. これまでの学習や経験

自分がこれまでに学んできたことや、どのような経験をしてきたかを伝えると、同じような学習や経験を持つ人とのつながりを作ることができます。また、自分がどのようなスキルを持っているかを示すことができます。

以上のような内容を取り入れた自己紹介は、自分をよく知ってもらうことができ、同じ授業を受ける学生たちとのつながりを作りやすくなるでしょう。

Regenerate response

# 自己紹介に必要な項目は？

- ◆ 名前: 佐藤 弘毅
- ◆ 読み方: さとう こうき
- ◆ 所属(学年): 言語教育センター
- ◆ 出身(国): 日本
- ◆ 専門: 教育工学、日本語教育  
(勉強したいこと)
- ◆ 連絡先: [sato.kouki.s8@f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:sato.kouki.s8@f.mail.nagoya-u.ac.jp)
- ◆ その他:
- ◆ どうぞよろしくお願いします

# TA

- ◆ 李 嘉隆 (り かりゅう)
- 人文学研究科 D3

# 自己紹介の表現 – 文章の例

- ◆ 名前: ~と申します。
- ◆ 読み方: ~と読みます。 / ~と呼んでください。
- ◆ 所属(学年): ~です。
- ◆ 出身(国): ~から来ました。
- ◆ 専門: 大学では~を勉強したいと思っています。  
(勉強したいこと)
- ◆ 連絡先: (必要に応じて)
- ◆ その他:
- ◆ どうぞよろしくお願いいたします



KO

それでは上に書いた項目について、自分の自己紹介の文章を書いてみましょう。



はい、以下に自己紹介の文章例を示します。

はじめまして、私は山田太郎と申します。現在は〇〇大学の〇〇学部に所属しており、専攻は〇〇です。大学では主に〇〇について学ぶことに興味を持っており、将来は〇〇分野で活躍したいと考えています。

趣味としては、旅行やアウトドアスポーツが好きです。特に〇〇地方の自然に魅了され、何度も足を運んでいます。また、音楽にも興味を持っており、大学では合唱団に所属しています。

これまでには、〇〇の研究を行ったことがあります。その研究では〇〇のデータを分析することが主な仕事でした。また、学外ではボランティア活動に参加した経験があり、その中でチームワークやリーダーシップなどのスキルを身につけました。

以上が私の自己紹介です。今後も学習や経験を積んで、将来の目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

# 授業の目的 – シラバスより

- ◆ 外国人留学生を対象に、日本語による **アカデミック・ライティング** の基礎を学び、
- ◆ 目的に合ったレポートの構成や書き方を学び、
- ◆ 文献を引用しながらレポートを書くことができるようになることを目指します。

# 授業の目的 – シラバスより

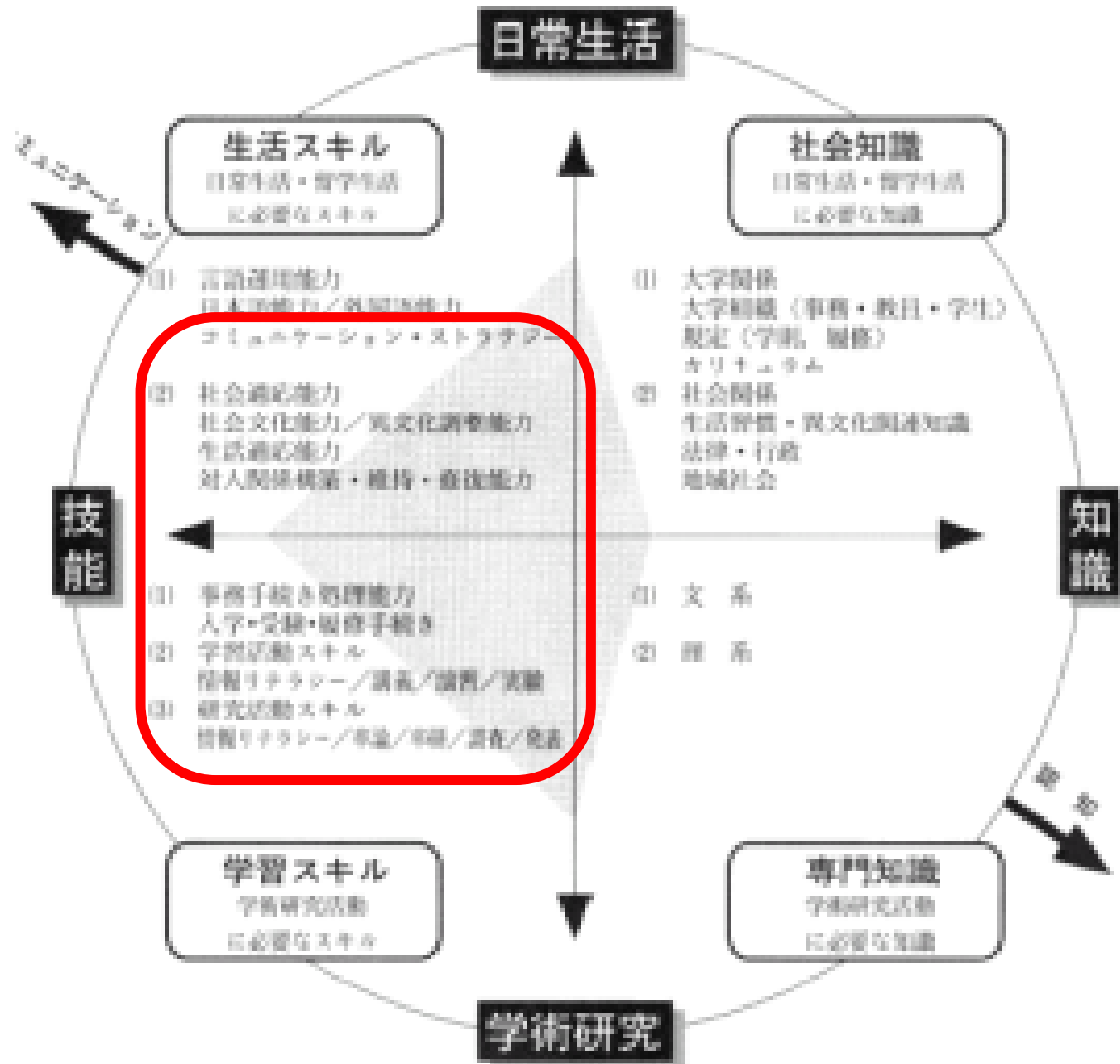
◆ 「アカデミック・ライティング」とは？



◆ アカデミック・ジャパニーズ  
(Academic Japanese)  
(=大学での勉強に必要な日本語)  
のうち、ライティング (=書く) 能力



◆ [演習] ワークシートの(3)を書いてみる



(三宅和子 (2003)「留学生・日本人大学生のアカデミック・ジャパニーズとは」より)

# 授業の達成目標

- ① 日本語によるアカデミック・ライティングの基礎を学び、レポートを執筆するために必要な文法や語彙、表現を学ぶ。
- ② 目的に合ったレポートの構成や書き方を学び、説明文と意見文が書けるようになる。

# 補足:

## ◆ AI(人工知能)やWebリソースの利用

- ChatGPT, Google翻訳, DeepL, Wikipediaなど



## ◆ 使えるものは大いに使ってもよい

- これらの活用もアカデミック・ライティングの1つ

## ◆ ただし...

- 自分で書く力を身に付けることも大切
- 誤っていることもたくさんある

→ 後半の授業で取り上げる(予定)

# 授業の予定

1. オリエンテーション
2. レポートの文法・文型 (1)
  - 助詞、言葉の形
3. レポートの文法・文型 (2)
  - 自動詞、他動詞、受身
4. レポートの文法・文型 (3)
  - 文末表現
5. レポートの文字・表記 (1)
  - ひらがな、漢字
6. レポートの文字・表記 (2)
  - カタカナ、読点
7. レポートの語彙・意味 (1)
  - 書き言葉
8. レポートの語彙・意味 (2)
  - 専門用語
9. レポートの文章・談話 (1)
  - 文の長さ、指示詞
10. レポートの文章・談話 (2)
  - 接続詞、文章の構成
11. レポートの文章・談話 (3)
  - 読み手への配慮
12. 説明文の作成 (1) - 記事を取り上げて紹介する文章を書く
13. 説明文の作成 (2) - 説明文を検討し、修正する
14. 意見文の作成 (1) - 記事について意見を書く
15. 意見文の作成 (2) - 他人の意見にコメントする

# 授業の予定

## ◇注意事項◇

- ◆ 授業ではたくさん「書いて」もらいます
- ◆ 授業にノートPCを持ってくることをおすすめします
  - 課題はすべてTACTに提出します
  - 次回から紙のワークシートは用意しません  
→ PCか紙のシート／ノートを自分で持ってきてください
- ◆ 要望や進度に応じて、内容は変わります
  - 勉強したいことをワークシートの(4)に書いてください
- ◆ なるべく欠席しないでください
  - 前回の内容をふまえた演習があります
  - 前回の内容はTACTで確認できます



# 教科書について

## ◆留学生のための ここが大切 文章表現のルール

石黒圭・筒井千絵(著)

スリーエーネットワーク

ISBN978-4-88319-502-2 C0081

- 生協南部書店などで売っています。なるべく早く買ってください。
- 教科書は次回の授業から使います。

# 成績評価

◆ 授業の参加度	20%
◆ 授業後の感想	30%
◆ 課題提出	30%
■ ワークシートなど	
◆ 最終課題	20%
■ 2つのレポート	

# TACTについて

<https://tact.ac.thers.ac.jp/portal>

## ◆ CMS (Course Management System) (授業支援Webページ)

- 授業で使用する資料が見られる
  - ◆ シラバス、授業スケジュール、スライド、参考Webページへのリンク、ワークシート、等
- 課題や感想の提出を行う



- ## ◆ 授業開始前に必ずアクセスしてください！
- ワークシートをダウンロードしておいてください

# 各回の授業の進め方

- 授業前 TACTの「授業資料(リソース)」から  
ワークシートをダウンロード
- ～15分 各自で事前課題などに取り組む
- 15分～ 課題の共有、教科書の説明など
- 75分～ 演習課題を完成させ、TACTの  
「課題」にワークシートを提出する  
※授業時間内に終わらない場合、宿題
- ～金曜日 TACTで授業の感想を提出

**※授業内容に応じて変更もあります**

# 授業の感想を書く

1. TACTにアクセス
2. 「授業資料(リソース)」から「ワークシート01」をダウンロード
3. ワークシートの(5)に授業の感想を書く
4. 「課題」の「第1回 課題・授業の感想」にファイルをアップロードする

・できるだけ金曜日まで(~4/21)に提出してください  
(次回授業開始まで提出は可能です)

※授業の感想の一部を次回の授業開始時に匿名で取り上げて紹介します(もし紹介されたくない感想があれば、書いてください)